

令和3年度施策評価（令和2年度実施事業）評価結果一覧表

基本施策コード	基本施策	対象	意図	基本施策主管課	施策の進捗状況	施策評価会議で議論されたことや意見、その他特記事項
A1	歴史・文化遺産を守り、活かし、伝えます	歴史文化遺産が	市民や事業者の理解のもとに、貴重な財産として、適切に保存・活用され、伝えられている。	文化財課	Bc 目標をほぼ達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Bc」については、所管評価のとおり。 ●（A1-1）東山手・南山手については、改正文化財保護法を踏まえ、文化観光部として、早急に対応を進めてほしい。 ●（A1-3）出島の指定管理者制度について、効果として「来場者の増につながる取組を検討することができた」とある。今後も、実際の具体的な取組を進めていく中で、指定管理者と協働してやっていく意識を強くしてほしい。長期の指定管理者制度を導入する施設として、取り組み方を問われていると考える。
A2	まちなみ、自然を活かし、まちの質を高めます	市域全体が	まちなみ、自然等の地域の個性を活かし、魅力的になっている。	景観推進室	Cc 目標を一部達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Cc」については、所管評価のとおり。 ●（佐賀市や南島原市のように、）地域の特色を上手に見せる工夫を市一体となって取り組むことはできないだろうか。地域おこし協力隊だけでなく、地域センターも一緒に取り組んだり、文化観光部も巻き込んだりして、もっと目に見える形で取り組んでいけるといい。 ●（A2-1）市職員の景観に対する研修について、全ての職員の意識醸成が十分でないという問題点への対応として、全世代に研修を行うことを実施できるよう、景観専門監の活用など積極的に進めてほしい。
A3	交流のための都市機能を高め、交流を促進し、賑わいを創出します	まちが	より多くの来訪者や市民で賑わっている。	観光政策課	Dc 目標を達成しておらず、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Dc」については、所管評価のとおり。 ●（A3-3①長崎駅周辺について）令和5年度に完成を目指す記載があるが、市民にはどういうものができるのか見えてきていないと思う。市の一大事業なので、市民によく理解してもらえるよう周知については力をいれて取り組んでほしい。 ●MICEについて、ビジネスにおいては、リモートが主流となり、会場で会議に参加する人数の減少が予想される中で、今後の方向性としては次の手を考えていかなければならない。多角的な視点で検討を進めてほしい。 ●観光客が激減する中で、今後の取組方針について、コロナ対策を進めることが記載されているが、他の観光都市においても同様に対策を進めていくので、TEAM NAGASKI SAFETYなど長崎市の独自性を記載した方がよい。
A4	国際性を豊かにします	市民が	国際交流や国際理解に積極的に取り組み、外国人住民とともに快適な環境の中で暮らしている。	国際課	Cb 目標を一部達成しており、目的達成に向けて概ね順調に進んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Cb」については、所管評価のとおり。 ●国際交流に関しては、どうしても市民にとっては遠い話になってしまう傾向にあるので、これまでの国際交流による目に見える成果の例として、オランダ・ライデン市から恐竜博物館に設置する大型恐竜のレプリカの提供について、記載があると良い。 ●（A4-2②について）日本語講座については、オンラインによる方法を取り入れることで、受講者の裾野を拡大できると考えられるので、オンラインでの実施について検討を進めてほしい。

令和3年度施策評価（令和2年度実施事業）評価結果一覧表

基本施策コード	基本施策	対象	意図	基本施策主管課	施策の進捗状況	施策評価会議で議論されたことや意見、その他特記事項
B1	被爆の実相を継承します	市民が	被爆の実相の継承を進めている。	被爆継承課	Cc 目標を一部達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の一次評価「Cb」については、新たな事業に取り組んだことは評価できるものの、その事業による成果や効果が十分に得られていると判断することが難しいため、成果指標の達成率による評価のとおり「Cc」とする。 ●立山防空壕については、まずは調査を進めることを今後の取組方針へ記載すべきである。
B2	核兵器廃絶の世論を喚起し、平和な世界を創造します	国際世論が	核兵器廃絶を求め、更に拡大している。	平和推進課	Dc 目標を達成しておらず、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の一次評価「Db」については、新たな事業に取り組んだことは評価できるものの、その事業による成果や効果が十分に得られていると判断することが難しいため、成果指標の達成率による評価のとおり「Dc」とする。 ●平和の文化の醸成については、若い世代をターゲットにしっかりと取組みを進める必要がある。
C1	交流を活かした地場企業の活性化と域内経済の循環を促します	地場企業が	地域資源を活かした魅力ある製品・サービスの開発により、域外からの来訪者や市民による売上を増やしている。	商工振興課	Bc 目標をほぼ達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Bc」については、所管評価のとおり。 ●(C1-1)ふるさと納税の取組みに係る成果については、寄付額の金額を記載してはどうか。 ●今後、新幹線開業も見据えると域外への戦略（効果検証を含む）が重要になってくるため、外貨の獲得に向けてしっかりと取り組むこと。
C2	域外経済への進出を加速します	地場企業が	市場での競争力を高め、域外で売上高を増やしている。	商工振興課	Dc 目標を達成しておらず、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Dc」については、所管評価のとおり。 ●商談会のオンライン開催のように、施策全体の中でデジタル化できる取組みを記載してはどうか。 ●(C2-1)地域商社の育成は完了しているが、育成の成果（事業効果）をしっかりと検証すること。 ●今後、施策全体において、時代の流れに沿ってデジタル化できる取組みの充実を図ること。

令和3年度施策評価（令和2年度実施事業）評価結果一覧表

基本施策コード	基本施策	対象	意図	基本施策主管課	施策の進捗状況	施策評価会議で議論されたことや意見、その他特記事項
C3	地場企業の経営資源を強化します	地場企業が	安定した経営を行っている。	産業雇用政策課	Dc 目標を達成しておらず、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Dc」については、所管評価のとおり。 ●IoT等の情報技術の推進について、地場企業のみで取り組むのは難しい点があるので、情報集積を得意分野とする企業など、新しい企業との協業について記載してはどうか。 ●（C3-3）コロナにより減収した事業者等への支援についても記載すること。 ●経営強化のためのIoT等の情報技術については、行政の事例紹介も含めて積極的に進めていくこと。 ●「企業の採用活動の支援」については、長崎県など他の団体との連携しながら積極的に進めていくこと。 ●企業の実態を把握するための経営力を図る指標について検討を行うこと。
C4	新しい企業・新しい産業を創造し育成します	地場企業、創造企業又は誘致企業が	新たに事業に取り組み、持続的な企業活動を行っている。	産業雇用政策課	Cb 目標を一部達成しており、目的達成に向けて概ね順調に進んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Cb」については、所管評価のとおり。 ●（C4-2）「今後の取組方針」における「本市の強み」については、コロナの影響による地方移住の気運の高まりなども地方の強みとして追記してはどうか。 ●（C4-1）「取組みによる成果」における「おさかなサブスク」について、「漁業者の所得向上」の解決」という具体的な成果が出たように感じるので、誤解を与えないような記載にした方がよいのではないか。 ●企業への支援等においては、効果・効率性を考えながら、長崎県と長崎市の役割分担について適宜見直しを図っていくこと。 ●新規卒業者のみではなく、長崎から転出し、ITスキルを身に付けた人材を呼び込む中途採用に係る取組みを推進してはどうか。
C5	農林業に新しい活力を生み出します	農林業者が	安全・安心で新鮮な農林産物を安定的に供給し、経営が安定している。	農林振興課	Db 目標を達成していないが、目的達成に向けて概ね順調に進んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Db」については、所管評価のとおり。 ●（C5-1）スマート農業について、実証実験の結果など、取組概要、成果と効果、問題点とその要因等に記載をすること。 ●（C5-3）有害鳥獣について、生活環境被害に対する対策について、記載が不足している。具体的に対応策を記載した方が良い。 ●（C5-1）「長崎和牛・出島ばらいろ」に係る「取組みによる成果」に、販売量は横ばいだが、販売額は下落した旨記載している。下落した理由（コロナの影響）について、説明を加えること。 ●（C5-3）IoTなどの先進技術については、農業振興だけでなく、有害鳥獣に係る対策についても、大学と連携して研究を進めることができないか。

令和3年度施策評価（令和2年度実施事業）評価結果一覧表

基本施策コード	基本施策	対象	意図	基本施策主管課	施策の進捗状況	施策評価会議で議論されたことや意見、その他特記事項
C6	水産業で長崎の強みを活かします	水産業者が	安全・安心で新鮮な水産物を安定的に供給し、経営が安定している。	水産振興課	Bc 目標をほぼ達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Bc」については、所管評価のとおり。 ●(C6-1) ICTの活用をはじめ、スマート水産業の事例があれば追記した方が良い。 ●(C6-1) 藻場の喪失原因として、ウニなどの食害が大きいとのことであるが、これらのウニを養殖して売るという取組みが他の地域であっているのか、参考にしてはどうか。 ●(C6-1) 藻場はCO2削減にも貢献出来るのではないかと。環境部局との連携を。 ●(C6) 成果指標について、「沿岸漁業者1人あたりの漁業生産額」が令和元年度大幅に減っている理由について、説明ができるようにしておくこと。 ●水産センターについて、今後の取組みに対応できる施設になっているのか？今後、どのように運営していくのかしっかりと計画を立てること。 ●今後の漁業の進め方については、専門的な意見も踏まえて欲しい。
C7	地元農水産物を活かして食関連産業を活性化します	地元農水産物が	多くの人に認知され、消費の拡大が図られている。	水産農林政策課	Dc 目標を達成しておらず、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Dc」については、所管評価のとおり。 ●(C7)「評価判断に至った成果・効果及び問題点・その要因」について、地域商社に係る取組みなど、成果があった（新たに行った）取組みをもっと記載してはどうか。そうすることで、進捗が図られていることも説明できるのではないかと。また、「今後の取組方針」である情報発信については、具体策を記載すること。 ●地産地消では、単価が下がってしまうため、ブランドとしての付加価値をつけて域外で売る戦略を取った方が良い。また、成果指標についても、それに対応した外向きの指標を掲げるべきではないかと。 ●関連性が高い経済3部局（商工部・水産農林部・文化観光部）において、今後のブランディングについて、新たなやり方を踏まえ活発な議論を行うこと。
D1	持続可能な低炭素社会を実現します	市民・事業者・行政等、すべての主体が	低炭素社会の実現に向けて着実に取り組んでいる。	環境政策課	Dc 目標を達成しておらず、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Dc」については、所管評価のとおり。 ●低炭素社会の実現については行政だけでは難しいので、積極的に民間と連携して事業を進めてほしい。
D2	循環型社会の形成を推進します	市民・事業者・行政等、すべての主体が	ごみ減量・リサイクルに対する意識を高め、循環型社会の形成に取り組んでいる。	廃棄物対策課	Db 目標を達成していないが、目的達成に向けて概ね順調に進んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Db」については、所管評価のとおり。 ●ごみの量について他都市との比較を行い、減量に向けた対策（家庭ごみの有料化など）を検討すること。 ●リサイクルを進めるにあたって、リサイクルの必要性や有用性の周知徹底を図って分別を進めてほしい。

令和3年度施策評価（令和2年度実施事業）評価結果一覧表

基本施策コード	基本施策	対象	意図	基本施策主管課	施策の進捗状況	施策評価会議で議論されたことや意見、その他特記事項
D3	良好な生活環境を確保します	市民が	さわやかで澄んだ空気、清らかで健全な水環境に恵まれ、健康やかに暮らしている。	環境政策課	Bc 目標をほぼ達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Bb」については、外的要因により引き上げるということは難しいと考えられることから、達成状況のとおり「Bc」が適当である。 ●D3-2成果指標の目標値については、環境基準よりも厳しく設定しているということだが、その妥当性について、第五次総合計画においては他都市等も参考にしながら検討してほしい。 ●長崎市だけで対応していること以外の内容も混在して記載されている（評価会議における説明としては県の内容なども含んでいる）ので、第五次総合計画では記載方法について整理が必要だと考える。
D4	人と自然が共生する環境をつくります	市民・事業者・行政等、すべての主体が	自然と共生する社会の実現へ向け取り組んでいる。	環境政策課	Bd 目標をほぼ達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などが遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Bd」については、所管評価のとおり。 ●木質バイオマスの活用については、サステナエナジーのスタートアップ事業や、新産業の育成の面でも寄与できると考えられることから、検討を進めてほしい。 ●あぐりの丘については、環境教育に関してこども部との連携も積極的に検討してほしい。
D5	環境行動を実践します	市民・事業者・行政等、すべての主体が	自ら環境について学び、あらゆる場所で環境行動を実践している。	環境政策課	Ad 目標を達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などが遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Ad」については、所管評価のとおり。 ●サステナプラザについて、現在の場所では分かりにくく、行きづらいという問題がなかなか解消されていない。もっと気軽に行きやすい場所となるように検討を進めてほしい。 ●D5-2全般を通して、SDGsの考えが広まり民間の積極的な動きがあるので、今後は民間との連携が大事になる。
E1	災害に強いまちづくりを進めます	市民が	減災への取り組みにより安全に暮らしている	防災危機管理室	Dc 目標を達成しておらず、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Dd」については、昨年度の台風被害によって、施策を取り巻く環境における新たな課題が生じているものの、（協定の締結、避難所の空き情報、屋外トイレの対策など）といった対応を進めており、今後の効果が見込まれることから、「Dc」とする。 ●令和2年度の台風被害により、避難所に関する様々な課題が出てきたが、対応を行った部分も多々あるので、具体的な内容を追記し、定性評価の内容に反映させた方が良い。 ●防災無線については、今後の取組方針は「完了させる」ことだけでなく、施策の目的である「防災機能が有効に機能している」の視点として、機能の改善などをより具体的に記載すべきである。 ●急傾斜地崩壊対策事業については、災害対策としてより注目される事業なので、進め方を検討し積極的に推進する必要がある。

令和3年度施策評価（令和2年度実施事業）評価結果一覧表

基本施策コード	基本施策	対象	意図	基本施策主管課	施策の進捗状況	施策評価会議で議論されたことや意見、その他特記事項
E2	消防体制を強化します	市民が	火災にあうことなく、安全・安心に暮らしている。	消防局総務課	Cc 目標を一部達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Cc」については、所管評価のとおり。 ●消防団について、今後は人の確保・維持に加えて、質の向上という側面も重要になってくるので、検討を進めてほしい。
E3	犯罪のない地域づくりを進めます	市民が	犯罪被害にあうことなく、安全・安心に暮らしている。	自治振興課	Ad 目標を達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などが遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Ad」については、所管評価のとおり。 ●（E3-1）犯罪被害者条例については、「犯罪被害に遭ったとしても安心して暮らせるまち」であることの取組みのひとつなので、内容を記載すること。 ●暴力追放「いのちを守る」長崎市民会議については、基金の残高も少なくなる中で、今後の実施の仕方など検討を進める必要がある。
E4	安心できる消費生活環境をつくります	市民が	安心して安全な消費生活を営んでいる。	消費者センター	Ac 目標を達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Ac」については、所管評価のとおり。 ●（E4-1）「消費者トラブルから市民を救済します」について、「評価（問題点とその要因）」に「有資格者数が少ないため」と記載しているが、有資格者が少ないことを要因に挙げてしまうと、行政には解決が難しくなるので表現を工夫してはどうか。 ●若年者の消費者教育について、未然の被害防止につながるよう、今後も積極的に取組みを進めていくこと。
E5	暮らしやすいコンパクトな市街地を形成します	各地区の市街地が	自然環境を保全しながら、各地区の規模に応じた都市機能を充実させ、安全で暮らしやすく、効率的でまとまりのある方向に進んでいる。	都市計画課	Dc 目標を達成しておらず、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Dc」については、所管評価のとおり。 ●E5-3の老朽危険空き家の取組みについては、事業の周知や空き家対策の必要性の周知など、事前対策が進むように取り組んでいくこと。

令和3年度施策評価（令和2年度実施事業）評価結果一覧表

基本施策コード	基本施策	対象	意図	基本施策主管課	施策の進捗状況	施策評価会議で議論されたことや意見、その他特記事項
E6	安全・安心な居住環境をつくります	市民が	ライフスタイルにあった安全な住宅・建築物に、安心して居住している。	住宅課	Cc 目標を一部達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Cc」については、所管評価のとおり。 ●E6-1「①市営住宅の改善」については、省エネにつながる設備を取り入れるなど、環境の面からも取組みを進めていくこと。 ●E6-2「①空き家・空地の活用支援」については、空き家・空き地情報バンクに関して、今後は登録件数だけでなく、マッチング件数を増やすことについても取組みを進めていくこと。 ●E6-2「①空き家・空地の活用支援」の問題点について、「十分な啓発が行えなかった」とあるが、それに対する今後の取組方針として、オンラインによる方法など様々な手法の検討を進めること。 ●E6-2の空き家に関する取組みについては、空き家にならないよう、居住している間に将来的な対策をとることができるよう、取組みを検討し進めてほしい。 ●E6-2については、民間住宅も含んだ施策であり、今後、マンション管理は大きな問題になっていくと予想されるので、市としてどのように関わっていくのか、今後の対策に関して検討を進めてほしい。
E7	道路・交通の円滑化を図ります	市民が	道路や公共交通機関を安全で快適に利用している。	土木企画課	Cd 目標を一部達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などが遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Cd」については、所管評価のとおり。 ●高齢化が進む中、デマンド交通等の在り方については、より積極的に検討を進めていってほしい。
E8	安全・安心で快適な公共空間をつくります	公共空間が	安全・安心で快適に利用されている。	土木企画課	Cc 目標を一部達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Cc」については、所管評価のとおり。 ●道路や駐車場・駐輪場の整備については、Co2の削減および脱炭素社会の実現に向けて、環境に配慮して進めていく必要があることから、アシスト付き電動自転車といった交通手段や電気自動車用の急速充電器の設置など、環境という観点からも研究を進めていってほしい。
E9	安全・安心な水を安定して供給します	水道水が	安全で安心して飲める水として安定的に供給されている。	事業管理課	Cb 目標を一部達成しており、目的達成に向けて概ね順調に進んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Cb」については、所管評価のとおり。 ●（E9-1）「令和2年度の取組概要」について、「アセットマネジメント支援情報システム」の※に対応する説明の記載がないので、記載すること。 ●スマートメーターの導入について、積極的に研究・検討を進めること。 ●長崎の水道料金に関して、料金設定の内容や他都市との違いなど周知啓発に努め、市民の理解を深める取組みも積極的に進めていくこと。

令和3年度施策評価（令和2年度実施事業）評価結果一覧表

基本施策コード	基本施策	対象	意図	基本施策主管課	施策の進捗状況	施策評価会議で議論されたことや意見、その他特記事項
F1	人権が尊重され、様々な分野で男女が参画する社会を実現します	市民が	互いの人権が尊重された社会で暮らしている。	人権男女共同参画室	Dc 目標を達成しておらず、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Dc」については、所管評価のとおり。 ●（F1-2）今後の取組方針に係る「人権相談窓口については、実績がなかったため廃止」については、新型コロナウイルス感染症に対する人権相談窓口のみが廃止になったため、誤解を与えないような記載にすること。 ●（F1-3）DV防止に係る「今後の取組方針」については、中学生向けだけでなく、大人に向けた取組についても記載してはどうか。 ●（F1-2）新型コロナウイルス感染症に係る人権相談窓口については、令和2年度取り組んだ内容として記載した方が良いのではないかと。 ●パートナーシップ宣誓制度に係る取組については、今後しっかり推進していくこと。 ●DV防止に係る教育に加え、LGBTについての理解に係る教育も積極的に進めてほしい。
F2	高齢者が暮らしやすい地域づくりを進めます	高齢者が	生きがいを持ち、地域で支え合い安心して暮らしている。	高齢者すこやか支援課	Dc 目標を達成しておらず、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Dc」については、所管評価のとおり。 ●（F2-2）交通費助成に係る「評価（問題点とその要因）」については、高齢者の社会参加につながったかどうかという視点で、問題点とその要因を記載すること。 ●（F2-2）老人クラブへの支援については、助成金を出すだけでなく、会員数が減少している原因について考察し、対応策について記載すること。 ●（F2-2）「高齢者ふれあいサロンの開設支援」に係る「今後の取組方針」において、「市の高齢者ふれあいサロンに移行できるよう」との記載があるが、分かりづらい表現となっているため、記載方法を検討すること。 ●（F2-4）小規模多機能型居宅介護や認知症対応型共同生活介護に係る「取組による成果」については、整備した事実だけでなく、整備したことの効果を記載すること。 ●地域包括ケアシステム構築については、市民の認識を深めるよう取組を進めていくこと。
F3	障害者が暮らしやすいまちづくりを進めます	障害者が	地域で自立した日常生活、社会生活を送っている。	障害福祉課	Ab 目標を達成しており、目的達成に向けて概ね順調に進んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Ab」については、所管評価のとおり。 ●（F3-1）「障害の早期発見・早期療育」に係る障害福祉センター診療所の待機状況については、待機解消に向けて積極的に取組を進めること。

令和3年度施策評価（令和2年度実施事業）評価結果一覧表

基本施策コード	基本施策	対象	意図	基本施策主管課	施策の進捗状況	施策評価会議で議論されたことや意見、その他特記事項
F4	安心して子どもを 生み育て、子どもの健 やかな育ちを図りま す	子どもが	健康に生まれ健やか に育っている。	子育て支援課	Db 目標を達成していな いが、目的達成に向け 概ね順調に進んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Db」については、所管評価のとおり。 ●（F4-2）「評価（成果と効果）」において、オンラインによる相談等に対応できる環境が、12施設のうち7施設は整備されたとのことだが、残り5施設の整備について「今後の取組方針」に記載してはどうか。 ●「定員増に向けた保育所等の施設整備」については、生活やリモートワークなど働き方が変わっていく中で、定員の増減による施設整備の必要性を見極め、柔軟な対応を行っていくこと。 ●「子どもの出生数」をF4の成果指標としているが、出生数を増やすために、婚姻の数を上げたり、結婚する年齢を引き下げたり、女性1人当たりの出生数を増やしたりなど、何をターゲットにどのような対策を行うかが変わってくる。客観的に分析したうえで施策を推進すること。
F5	原爆被爆者の援護を 充実します	被爆者等が	安心して暮らしてい る。	援護課	Ac 目標を達成しているも の、目的達成に向け た課題の克服などがや や遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Ac」については、所管評価のとおり。 ●（F5-2）（F5-3）「評価（問題点とその要因）」において、「5年後にめざす姿に対する問題点」と「問題点の要因」が同じ内容になっている。放射線の人体への影響等に関する新たな科学的・合理的根拠につながる糸口が得られていない理由（時間の経過により分析できない、放射線の影響に係る大規模調査の文献がない等）を「問題点の要因」に記載すること。 ●（F5-3）「被爆二世健康診断内容の充実に係る国への要望」に係る「問題点の要因」については、「今後の取組方針」に繋がる内容にすること。
F6	暮らしのセーフティ ネットを充実します	生活困窮者 や生活保護 受給者が	健康で文化的な生活 を維持している。	生活福祉1課	Dc 目標を達成しておら ず、目的達成に向け た課題の克服などがや や遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Dc」については、所管評価のとおり。 ●（F6-1）「生活困窮者自立支援の取組み」における「評価（成果と効果）」に記載してある「課題解決」の内容を具体的に分かりやすくするよう、事例を追記すること。 ●（F6-1）コロナの影響で、生活困窮者の相談が増えたなど、取組みの内容・成果が変化した場合は記載してほしい。

令和3年度施策評価（令和2年度実施事業）評価結果一覧表

基本施策コード	基本施策	対象	意図	基本施策主管課	施策の進捗状況	施策評価会議で議論されたことや意見、その他特記事項
F7	自らすすめる健康づくりを推進します	市民が	心身ともに健康でいきいきと暮らしている。	健康づくり課	Bc 目標をほぼ達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Bc」については、所管評価のとおり。 ●（F7-2）「健康診査・各種がん検診の実施」について、休日や夜間に健診を受診できる機会を提供したのであれば、取組みを記載してはどうか。 ●（F7-3）「口腔ケアや口腔機能維持対策の普及」について、「取組みによる成果」に記載している「ハイブリッド開催について準備が整った」ことは、「令和2年度取組概要」に記載する内容ではないか。また、「今後の取組方針」に繋がる「評価（問題点とその要因）」を記載してはどうか。 ●（F7-3）「フッ化物利用の推進」について、「問題点の要因」として「効果的な利用法」が伝わりにくいとのことであるが、分かりやすくなるよう「効果的な利用法」を具体的に記載してはどうか。 ●健（検）診の推進については、職域での実施率向上のため、雇い主に周知を行うなど、保険者等関係団体と連携して取り組むこと。 ●健康づくり推進員の地域での活動については、地域コミュニティ連絡協議会と連携して積極的に進めていくこと。 ●健康ポイント制度については、対象をしっかりと定めて効果的に行うこと。
F8	安心できる衛生環境を確保します	市民や観光客が	感染症や食中毒等の健康被害から守られている。	生活衛生課	Cb 目標を一部達成しており、目的達成に向けて概ね順調に進んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Cb」については、所管評価のとおり。 ●（F8）成果指標の「感染症患者数」が令和2年度は大幅に増加している理由を、注記として記載してはどうか。 ●（F8-2）「池島東浴場及び池島港浴場の運営」について、「取組みによる成果」に記載の「施設の円滑な運営を図った」ことは取組みなので、「施設の円滑な運営を図ることができた」との記載がよいのではないか。 ●（F8-2）「食中毒予防の取組み」について、事業者向けのみではなく一般市民向けの取組みも行っているのであれば、記載してはどうか。 ●（F8-1）「新型コロナウイルス感染症の感染対策」について、感染拡大防止のため市民の方に広く周知したことも併せて取組みとして記載してもよいのではないか。

令和3年度施策評価（令和2年度実施事業）評価結果一覧表

基本施策コード	基本施策	対象	意図	基本施策主管課	施策の進捗状況	施策評価会議で議論されたことや意見、その他特記事項
F9	安心できる医療環境の充実を図ります	市民が	安心して適切な医療を受けることができる。	地域保健課	Ac 目標を達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Ac」については、所管評価のとおり。 ●(F9-2)「新型コロナウイルス感染症への対応」について、医療専門監の配置は長崎市として大きな取組みなので記載してはどうか。
G1	次代を生きぬく子どもを育みます	子どもが	将来の夢や希望を自らの言葉で語り、実現に向けて努力している。	学校教育課	Dc 目標を達成しておらず、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Dc」については、所管評価のとおり。 ●(G1-1)「教職員の指導力向上」について、教職員のITリテラシー向上は重要であるため、具体的な取組みを「今後の取組方針」に記載してはどうか。 ●(G1-1)「国際理解教育の推進」について、国際交流員は日本語スキルが高く、国際交流の事業に大きく寄与しているため、学校への派遣に係る取組みも記載してはどうか。 ●GIGAスクール構想の実現に向けた基盤整備は整ってきているので、客観的に判断できるような目標の立て方及び成果の図り方に努めてほしい。
G2	だれもが生涯を通じていきいきと学べる社会をつくります	市民が	自ら学ぶとともに、学びを通して仲間づくり、地域づくりを行っている。	生涯学習課	Cc 目標を一部達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Cc」については、所管評価のとおり。 ●(G2-1)「図書館の運営」において、コロナの対応として、デジタル図書館整備に係る取組みを「令和2年度の取組概要」及び「評価（成果と効果）」を記載すること。また、除菌機等の導入についてもコロナ対応として記載すること。 ●(G2-1)「若者がチャレンジできる仕組みづくり」について、今後の取組方針に繋がる問題点があるはずなので、「評価（問題点とその要因）」に記載すること。 ●(G2-1)「公民館の取組み」については、オンライン講座を実施する公民館を増やしてくための人材育成などを含めて、具体的な内容を「今後の取組方針」に記載した方がよい。 ●(G2-1)「恐竜博物館の建設」に係る「5年後にめざす姿に対する効果」については、建物が完成したことによる効果（学習するための拠点の創出となった等）を記載すること。 ●「若者がチャレンジできる仕組みづくり」については、芸術文化体験やニュースポーツの振興など庁内で連携をしながら推進すること。
G3	スポーツ・レクリエーションの振興を図ります	市民が	いつでも、どこでも、いつまでもスポーツ・レクリエーションに親しんでいる。	スポーツ振興課	Dd 目標を達成しておらず、目的達成に向けた課題の克服などが遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Dd」については、所管評価のとおり。 ●(G3-1) vファーレンとの交流事業等についても記載してはどうか。 ●(G3-1) 南北幹線道路による松山の運動施設の整備などハード面で課題があれば記載する必要があるのではないかと。 ●令和2年度における成果の数値が全体的に落ちているのは、コロナの影響により体育館等の施設を閉めざるを得なかったことが一因になっていると思われるので、この理由を記載してはどうか。 ●長崎市の重点プロジェクトにおいて、ニュースポーツの振興が掲げられているので、連携を図っていくこと。

令和3年度施策評価（令和2年度実施事業）評価結果一覧表

基本施策コード	基本施策	対象	意図	基本施策主管課	施策の進捗状況	施策評価会議で議論されたことや意見、その他特記事項
G4	芸術文化あふれる暮らしを創出します	市民が	芸術文化に親しみ、心豊かに生活している。	文化振興課	Cd 目標を一部達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などが遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Cd」については、所管評価のとおり。 ●（G4-1）マダムバタフライフェスティバルについては、オンラインを活用したことで観客数が増えているので、成果・効果及び今後の取組方針に具体的に記載して良いのではないかと。 ●（G4-1）長崎市の重点プロジェクトにおいて、若者の芸術文化体験が掲げられているので、今後の取組方針に記載して良いのではないかと。 ●人口減少や若者の数が減っている中では、市民文化団体が減っていくと考えられるので、今後、団体同士を繋ぐマッチングの機会の提供も検討すること。
H1	市民が主役のまちづくりを進めます	市民が	それぞれの役割を果たしながら、連携してまちづくりを進めている。	自治振興課	Dc 目標を達成しておらず、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Dc」については、所管評価のとおり。 ●（H1-1）地域コミュニティに係る取組みについて、令和2年度からコロナ禍においてもリモート会議を活用した取組を進めていたのであれば、取組内容として記載して良いのではないかと。 ●（H1-2）市民活動支援補助金について、問題点の要因には「ニーズに合致していない」と記載がある一方で、今後の取組方針には「制度の周知を図る」と記載があり、問題点と取組方針に齟齬があるので、整合を図ること。 ●自治会の回覧文書について、ICTを使った手法をより積極的に進めてはどうか。 ●自治会加入促進について庁内で横断的に情報共有・連携しながら進める必要がある。
H2	つながりあう地域社会をつくりまします	多様な主体同士が	お互いの強みを活かした役割分担のもと、いつでも協働の手法を使って、地域課題に取り組んでいる。	市民協働推進室	Ac 目標を達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Ac」については、所管評価のとおり。 ●（H2-1）提案型協働事業の問題点については、市民側も行政側もともに制度について知らなかったりと記載があるが、市民との関係性が築けていないという一面も考えられるので、記載方法を検討してはどうか。 ●意市民への情報発信は災害時など非常に重要なものである。こういった情報をどういった世代にどのように届けるかなど、ターゲットや手法について早急に戦略を立て実行していくこと。 ●職員の「全員広報」の意識を高めるために、各所属の広報に係る取組を共有すると良いのではないかと。 ●広報に係る成果を客観的な数値で示すよう検討すること。
H3	市民に信頼される市役所にします	市役所が	自律的な行財政運営を行っている。	行政体制整備室	Dd 目標を達成しておらず、目的達成に向けた課題の克服などが遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の評価「Dd」については、所管評価のとおり。 ●（H3-1）テレワークの導入について、文書管理システムの施行と合わせて情報の共有化を進めたことなど令和2年度の取組目として記載して良いのではないかと。 ●行政運営については、職員確保が難しい中で、民間を活用するなど新たな手法について考える必要があるのではないかと。 ●重要性を見極めた上で、業務を減らしていくという視点とともに、日常業務を、確実に効率的に行うことができるよう職員育成をしっかりと行うことが重要である。